

自治体応援

大規模災害時の迅速な災害対応のため、九州地方整備局管内の市町村との応援に関する協定に基づいて、適切かつ円滑な支援を行います。

- ①情報連絡網の構築 ②現地情報連絡員(リエゾン)の派遣
- ③施設の被害状況の把握 ④災害応急措置

災害支援

令和6年 能登半島地震における支援状況(令和5年度)



TEC-FORCE 派遣(出発式)



調査状況(石川県輪島市)



調査とりまとめ状況(石川県輪島市)



調査状況(石川県輪島市)

※TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)

大規模な自然災害等に際して、被災状況の把握や被災自治体の支援を行い、被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に実施します。

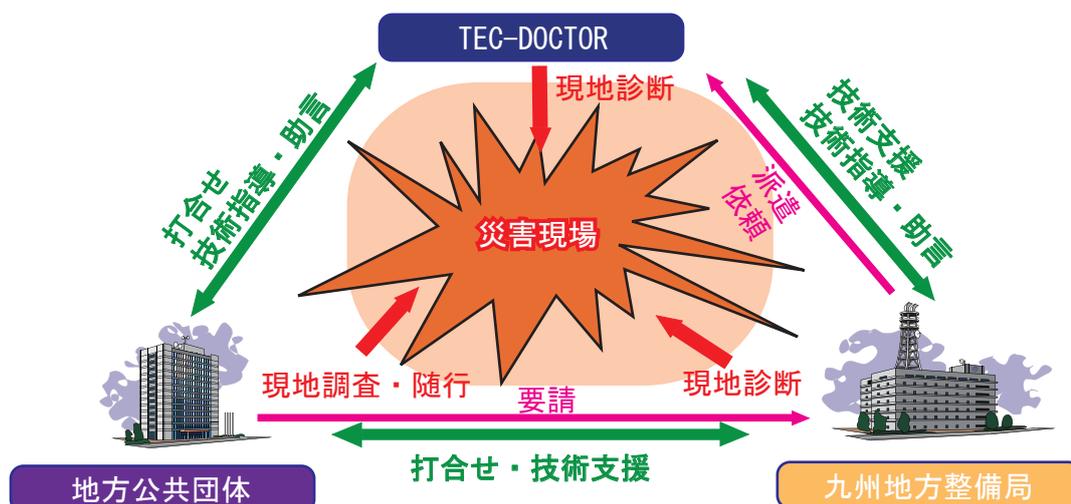
※リエゾン(現地情報連絡班)

災害時等において、整備局職員を県・市町村に派遣し、自治体が必要とする情報や自治体からのリクエストをいち早く整備局に伝達し、対応します。

技術支援

■TEC-DOCTOR(緊急災害対策派遣ドクター)の派遣

高度な技術や専門的な知識を有する学識経験者を被災地へ派遣し、指導・助言を行います。



情報通信用機器

各種情報通信機器を活用し、災害現場の映像情報収集・関係自治体とのTV会議等を行っています。

■ヘリコプター

国土交通省所有のヘリコプターにて災害現場周辺を空撮し、リアルタイムで映像を送送
※伝送路は衛星回線



■九州地方整備局 災害対策室
■佐伯河川国道事務所 災害対策室



■衛星伝送装置

国土交通省所有の衛星伝送装置にて災害現場の状況を撮影し、リアルタイムで映像を送送
※伝送路は衛星回線



■可搬型TV会議装置(モバイルPC)



災害現場やテックフォース・リエゾン派遣地と情報共有を図るためTV会議を実施する。
※伝送路は地上回線



情報共有・協議

■地方自治体

災害対策用機械機器

災害に供え災害対策用の機械を導入しています。

排水ポンプ車とは

車両に水中ポンプ、ポンプ操作盤及び発電機を搭載し、車両1台で浸水被害の発生した箇所での排水運転が行える車両です。佐伯河川国道事務所では、排水能力毎分60立方メートルの車両2台と、排水能力毎分30立方メートルの車両4台の計6台が配備されており、大雨による家屋等の浸水被害の軽減に努めています。



照明車とは

災害復旧作業は昼夜問わず早急に行う必要があるため、夜間作業の支援を行う車両です。

